

令和5年度 多良間中学校 学校経営構想

☆本校教育活動スローガン

「島立」を見据えた教育活動の推進！



1 本校教育目標

一 自ら進んで学ぶ生徒	(知)	校訓「至誠（しせい）」
一 心豊かで思いやりのある生徒	(徳)	: 真心、誠実を持って事に当たれば
一 心身ともに強くたくましい生徒	(体)	夢や希望は叶う

◇「身につけさせたい資質・能力」主な4点

○見通す力 ○気づき伝える力 ○関わる力 ○挑戦しやり抜く力

2 めざす生徒像 (育成すべき教育目標の具体化)

- ・主体的に考え、見通しを持って学び続けようとする生徒
- ・互いの立場を尊重し、寛容且つ思いやりを持った言動ができる生徒
- ・自らの体力向上や健康管理、危機管理に努めようとする生徒

めざす学校像

- ・夢を育み未来を切り拓く学校
- ・支持的風土の中で安全安心に努める学校
- ・家庭・地域に信頼され期待される学校

めざす教師像

- ・教育愛に満ち、生徒、保護者、地域に信頼される教師
- ・生徒とともに学び続ける生徒
- ・見通す力、見取る力のある教師

3 令和5年度の重点事項3つ

(1) 学力向上を目指した授業改善 (確かな学力)

- ・校内研修の工夫「各教科の学び方」「適切な見取り(評価)」・補習日の工夫
- ・小中連携(小学校の各種調査結果を活かす(経年比較))

(2) キャリア教育の充実 (進路選択、人生設計、郷土愛)

- ・1年からの進路指導計画作成と実践。生徒や保護者への進路情報の提供
- ・プロジェクトTを活用した取組の工夫改善と総合学習の充実
「職場体験」「子ども議会」「郷土学習(多良間島再考、環境教育等)」

(3) 教育相談の充実 (適応力、復元力)

- ・至誠ノートやSSTを活用した取組の実践
- ・定例職員集会(情報、改善策の共有)を活かす

4 特色ある教育課程の編成（主な３点）

（１）学校（全体・各学年）行事の工夫改善

１年：企業見学、子ども議会

２年：職場体験、修学旅行 ※R5 から完全移行

３年：「郷土学習（多良間島再考）」と「島立学習」（R5 から新設）、

その他：思春期講座、島立弁当づくりなど

※郷土学習および島立学習は約 70 時間確保し外部機関や行政と連携予定）し、

地域の人材資源を活かた（地域や社会教育へ繋げる視点も）取組み。

全体：幼小中合同運動会、八月踊り、環境(海洋)教育※R5 に新設予定 8 時間程度

その他：宮古市交流、村内一周マラソン（未定）、海外ホームステイなど

（２）学校の実態に即した「各教科等年間指導計画」及び「教育計画」見直し改善。

（３）各教科等の適切な評価及び説明責任

計画的な単元テスト（ペーパーテストだけではない）における評価と指導と一体化を図る。

※全国学調、到達度調査は従来通り実施

※学習評価説明会（５月予定）の実施。

5 学年・学級別在籍数

	１年 A	２年 A	３年 A	B	C	合計
男子	9	8	4	(1)	0	22
女子	3	5	8	(1)	(1)	18
合計	12	13	12	(2)	(1)	40

6 職員構成

1	校長	垣花 正人	2	教頭	座間味浩二
---	----	-------	---	----	-------

	担任・副担	名前	担当教科
3	1年 A 担任	砂川 恵	家庭、他
4	A 副任	野原 太	体育、技術
5	2年 A 担任	城間 樹	理科
6	A 副任	与座 人司	社会
7	3年 A 担任	瀬底 正彬	数学
8	A 副任	東風平秀典	音楽、美術
9	3年 B 担任	佐久本 葵	教科等、他
10	3年 C 担任	湧川 多絵	英語、他
11	B C 副任	亘保 暢子	国語

	担当	名前
12	養護教諭	宮川 有紀
13	事務主事	仲村 卓
14	図書室	野里 俊
15	用務	垣花 正子

A L T	ダグラス・ミドルトン
-------	------------

